

高大連携高校生防災教育推進事業「高校生防災セミナー」実践活動報告書

学校 番号	1 2 7	学校名	愛知県立高浜高等学校	(全日制課程)
----------	-------	-----	------------	---------

取組のテーマ

自分の命は自分で守る！目指せ、防災エキスパート！

具体的な取組

①企画性	高校生防災セミナー参加生徒や生徒会を中心に、高浜市役所防災防犯グループや地域のまちづくり協議会、民間団体などの協力を得て、各種防災講演会、防災講座に参加し、防災の知識を身につけた。今回学んだ知識、経験を全校生徒や保護者に啓発した。
②主体性	(1) 高浜市主催の防災講演会への参加 (2) 高浜市総合防災訓練への参加 (3) 文化祭「防災の部屋」「起震車体験」への参加 (4) 水害VR体験、防災リテラシー（防災講座）への参加
③対 象	全校生徒・教職員・PTA
④連 携	高浜市役所防災防犯グループ、認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード、高浜南部まちづくり協議会、KDDI 株式会社、一般社団法人中部地域づくり協会
⑤内 容	<p>(1) 高浜市主催の防災講演会への参加</p> <p>「地域防災力を高めよう」～助け合いが命を救う～をテーマに、レスキューストックヤードの栗田様から、地震発生後から起こるさまざまな問題を教えていただいた。今なお避難生活をされている方々に対して何ができるのか、災害は「いつか来る」ではなく、「いつ来るか」という意識に切り替えることの大切さを学んだ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(2) 高浜市総合防災訓練への参加</p> <p>湯または水でつくるアルファ米の防災食試食の手伝いを担当した。湯を使う場合は約 15 分、水を使う場合は約 1 時間で完成した。その後、スタッフ用にアルファ米をおにぎりにしたが、普段食べているお米よりもまとまりにくく、握るのが大変だった。味についてもよく考えられており、災害時の食事の大切さを知ることができた。この体験を通して、災害時に自分の命を守るために、普段食べている保存食を「防災食」として準備しておくことが大切だと学んだ。</p>



(3) 文化祭「防災の部屋」「起震車体験」への参加

防災訓練の一環として、校長先生とPTAの方が企画してくださった「防災の部屋」の防災すごろくに参加した。PTAの方のアドバイスのもと、すごろくを進めながら、災害が起きたときにどのような行動をとればよいのか学ぶことができた。

また、高浜市役所防災防犯グループの方々のご協力のもと、起震車の体験も行われた。起震車に乗り、実際に地震の揺れを体験したが、震度7の揺れは想像以上に激しく、座っていることが難しかった。この体験を通して、地震はとても怖いものであり、いつ起こるか分からないからこそ、日頃の備えが大切だと強く感じた。



(4) ①水害VR体験、②防災リテラシー（防災講座）への参加

①水害VR体験

中部地域づくり協会の方を講師に迎え、水害をテーマに浸水体感VRによる浸水疑似体験、AI語り部への質問、簡単な実験など行った。特別警報が発令される前に行動する大切さ、水害の恐ろしさを知った。



②防災リテラシー

KDDI 株式会社の方を講師に迎え、「スマホ de 防災リテラシー」を行った。災害情報を KDDI のスマートフォンで情報共有し、安全な避難場所や避難ルート、救助する場所を特定する実践的なワークショップを行った。日頃から利用しているスマートフォンを災害時にどのように活用したらよいか、災害時だからこそ、スマートフォンを最大限に活かす大切さを学んだ。



⑥その他

効果と課題

【効果】

高校生防災セミナーやさまざまな防災講座に参加して、防災・減災に対する意識が向上し、家族やP T Aの方々、地域の方々と防災について話し合うきっかけになった。また、P T Aの方々、地域の方々と交流ができたことは、生徒が自ら主体となって行動することの必要性を実感するよい機会となった。

【課題】

今後も全校生徒や先生方だけでなく、地域やP T Aの方々とともに防災意識を高められる取組をしていきたい。また、今回取り組んだ内容を踏まえて、来年度以降の活動につなげていきたい。その中で、高浜高校として何ができるか、地域の中で貢献できることは何かを考え、防災行事を計画的に実施していくことが課題である。